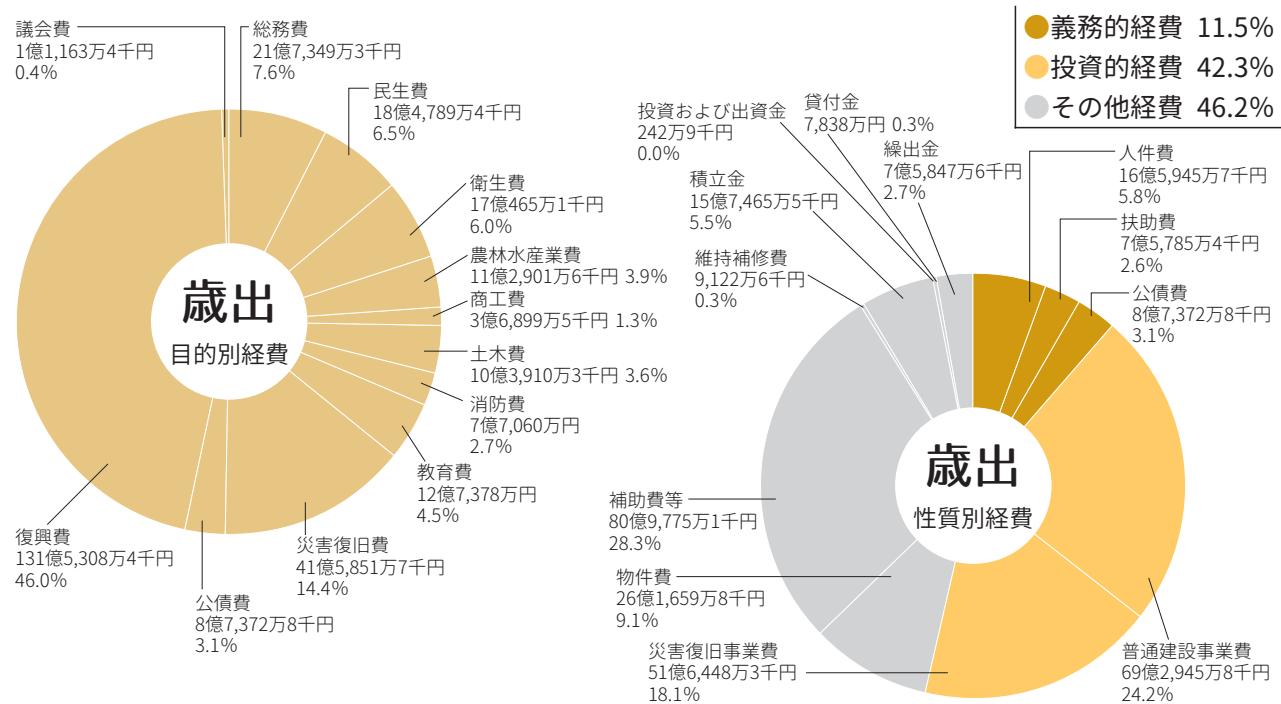


南三陸町財政報告

平成30年度 一般会計決算（歳出）

平成30年度
一般会計決算（歳出）
286億449万5千円

そのうち復興関連事業費は
約212億5,500万円

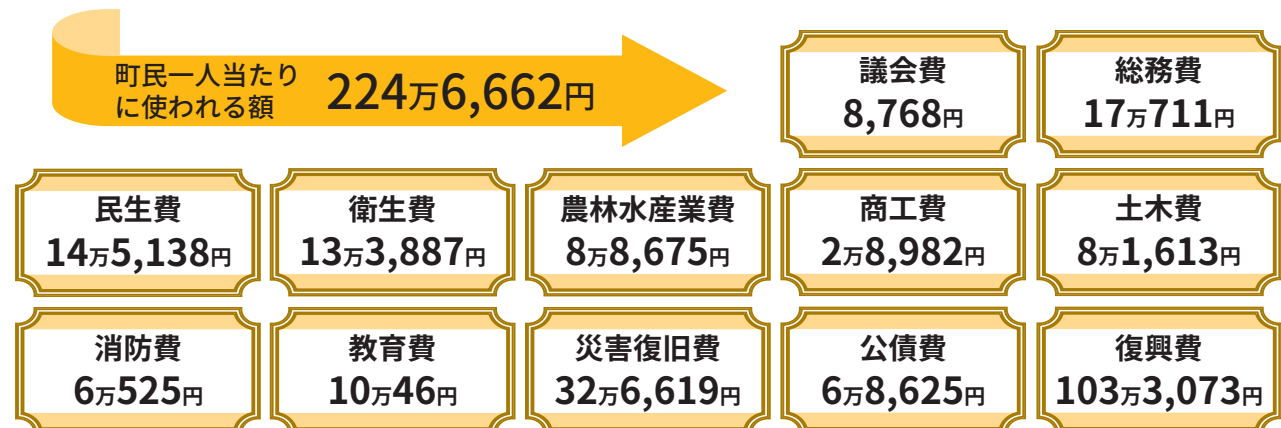


復興関連事業に関する経費は、主に漁港施設災害復旧事業費や被災市街地復興土地区画整理事業などにより約212億5,500万円となりました。

歳出のうち、義務的経費は前年度と比べ約5億1,430万円（△13.5%）減少しました。これは、借入金償還額が前年度と比較して減少したためです。

投資的経費は、前年度と比較して約58億8,664万円（△32.7%）減少しました。これは、各種公共施設の復旧復興事業が完了し、事業費が減ったことによるものです。

そのほか、補助費などは、復興事業完了に伴う国への返還金が増えたため前年度より約49億9,399万円（160.9%）増加しました。



平成30年度決算は、9月の町議会定例会に監査委員の審査を経て提出され、原案のとおり認定されました。

ここでは、認定された一般会計および特別会計の決算概要、健全化判断比率の算定状況などについて報告します。

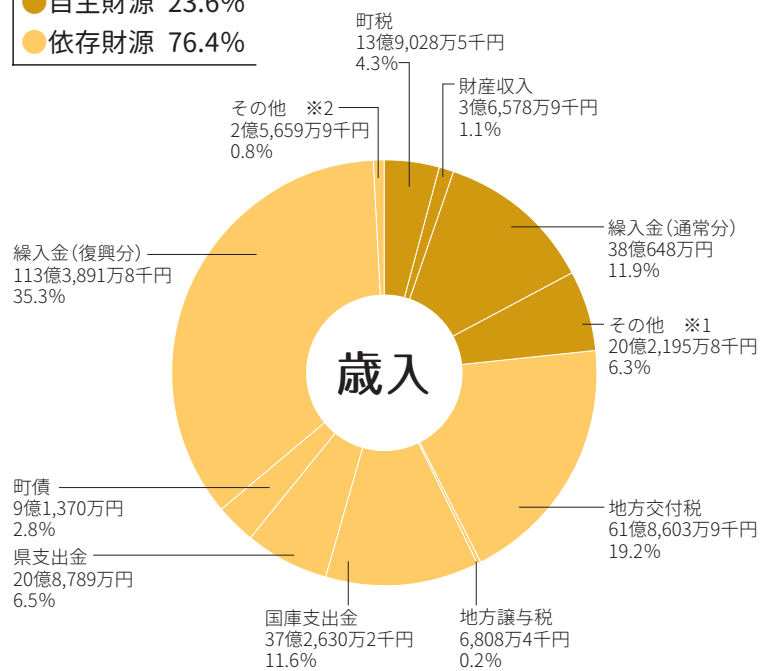
また、東日本大震災関連予算の現況や令和元年度上半期の収支状況も報告します。

☎ 総務課財政係 ☎ 46-1370

平成30年度 一般会計決算（歳入）

平成30年度 一般会計決算（歳入） **321億6,204万4千円**

● 自主財源 23.6%
● 依存財源 76.4%



歳入のうち、町税については、前年度と比べ約8,113万円（6.1%）増加しました。町税全体の収入額は東日本大震災以降、少しずつ増加傾向となっています。

地方交付税、国庫支出金、県支出金を合わせた決算額が約120億円となり、歳入全体の約37%を占めています。また、依存財源となる繰入金（復興分）は、前年度と比べ約42億7,500万円（60.5%）増加しました。これは、復旧復興事業の進捗に伴う事業費の精算により、財政調整基金からの繰入れが増加したためです。

※1…分担金および負担金、使用料および手数料、寄附金、繰越金、諸収入

※2…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金

入湯税の使途状況

平成30年度の入湯税の納税額は**522万8,660円**でした。全額を今後の観光の振興および環境衛生施設整備に活用するため、南三陸町観光振興等基金に積み立てます。

町が所有する主な財産

基金	山林	土地	建物	車両	出資による権利	有価証券
20,815,182,510円	25,748,190㎡	5,369,219㎡	165,122㎡	80台	117,410,000円	14,361,934円